



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
〒036-8224 弘前市文京町1番地
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
2018年1月15日 第95号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.95

2018年も弘前大学生協をよろしくお願いいたします。

毎年、新年の初めには山田理事長（教育学部教授）より「年頭のご挨拶」を掲載していましたが、今年は弘前大学生協で働いている人数が一番多いパート職員を交え「2018年にやりたいこと」を話したのでその紹介をさせていただきます。



山田理事長の2018年やりたいことは
「書き上げた原稿を本にすること」
「生協で職員旅行を実施すること」

生協で職員旅行企画は2017年のリベンジです。

山田理事長からは「人間って必ず死ぬんです。だから生きていうちに楽しまないかね。でも『楽しいもの』って人によって違って、同じ人でもその年齢や状況によって違って来る。だからやってみたいことがあるなら、ぜひ叶えて欲しい。」また「仕事の時間は、人生の大部分を占めています。つまらないと人生の大部分をつまらなく思ってしまうことになってしまいます。それはアルバイトでもパートでも正規職員でも同じこと。生協の仕事って直接学生や教職員の大学生活を支えられる。そんな仕事は他にはなかなか無いと思っています。『疲れたなあ』とか『これ無駄じゃない?』と感じるちょっとしたことを言ってもらって、やりがいを持てるような職場にしていきたいと思います。」とお話がありました。



医学部店
松藤店長のやりたいことは
「息子とツーリング」カッコイイ！

日頃、組合員の学生や教職員の皆さんに対し「やりたいこと」のサポートをしている職員ですが、「自分たちのやりたいこと」って？勤務時間の決まっているパート同士、業務上の話しかしたことがありませんでしたが、今回のことで、家族についてや趣味、好みについて短い時間でしたが話ができて楽しかったです。



「2018年やりたいこと」で多かったのは旅行！そしてほか断捨離や家族でわんこそばチャレンジも。みなさんの2018年やりたいことは何ですか？



弘前大学生協「広報委員会」のメンバー委員は各店から1~2名出席し毎月のテーマについて確認しています。



親の姿を見て子どもが育つように、身近に楽しそうな大人がいれば、周りも楽しくなるのと思います。これがない、あれができない、などと嘆くより「こうしたら楽しくなるかも。」と行動できる人のほうがいい。だからこれからも弘前大学生協の職員として楽しく、組合員の皆さんと一緒に店舗を創っていただけたいと思います。



生協は組合員一人ひとりが出資し、利用、運営することで成り立っており、組合員の「参加」と「声」が生協をつくります。ぜひ、組合員の代表として役員（理事・監事）や総代になって生協の活動にご参加ください。

理事会〈議決事項〉

第1号議案

「求人情報ウェブサイト利用規則(案)」

第2号議案

「弘前大学生協同組合サイト会員規約(案)」

第3号議案

「弘前大学生協IC利用細則(案)」について規則の改定しました。

〈追加議案〉

第10号議案 正規職員の海外出張について

食堂正規職員による「タイ産ほうれん草産地視察」に正規職員1名を派遣することを決めました。



審議の様子

第1号～第3号、第10号議案については、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

理事会〈審議事項〉

第5号議案

生協所有アパートについて

前回の理事会での、用地購入決定を踏まえ、用地に関する報告とアパート建設について提案があり審議しました。

この議案については、遺跡としてどのようなものが出土することが予想されるのか、遺跡調査で掘る深さはこちらで決めることができるのかという質問がありました。

貝塚が出土する可能性があることや、基礎工事で必要な深さを掘れば良いことになっているという回答がありました。

この議案については、次回以降の理事会でも再度意見をいただくこととしました。

第7号議案

生協全体の2017年度重点課題の振り返りについて

2017年度重点課題の評価と2018年度の課題について提案があり審議しました。業務改革については、重点課題に取り組むことで現場の負担になっていることがあるのではないかと意見や、食については、食堂で「今日の定食」のような組み合わせを提案してほしいという意見がありました。

この議案については、頂いた意見も踏まえ2018年度の重点課題を検討することとしました。

第4号～第9号議案は引き続き検討し意見をいただくことになりました。

AO合格者とその保護者さまへの早期説明会

私も推薦で合格して3年前にこの説明会に参加していたので、当時を思い出しながら説明会に挑みました。当日は雪も積もって足元が悪かったにも関わらずたくさんのお客さんがご来場くださり、その後の相談会でもいろんなお話ができました。ご本人様たちからは「学生の生の声をきいて大学生活のイメージができた。」「必要な準備がわかって不安がなくなった。」との声を頂き、学生委員会の古田さんと一緒に大学生活の様子を伝えられたことを実感し、嬉しく思います。この日出会った後輩たちに大学で会える日が今からとても楽しみです。

学生生活アドバイザー 人文学部3年 齋藤圭南

日時：2017年12月16日(土)
場所：大学会館3階大集会室
参加数：117家族 250名以上
午前中に説明会、午後「住まい徒歩見学ツアー」と「ミニサポートセンター」を開催しました。



何でも相談の様子

ミニサポートセンターでは現役学生に聞く「何でも相談」を開設。学生はもちろん、保護者の方からの質問もありました。



住まい見学ツアーの様子



早期説明会の様子

【参加者感想】

「先輩学生が親切に対応してくれてよかった。」
「学生アパートの価格相場と雰囲気がつかめた。」
「パーシティハウス西ヶ丘がとても良く、息子に住ませるにはもったいないと感じた。」
などとても喜ばれた模様でした。

【住まい徒歩見学ツアー】

新入生の親御さんは、実際自分がアパートで一人暮らしをした経験が無いと「学生アパート」と聞いても、家賃や設備にはピンとこないことが多いようです。当日は8名の先輩学生が各自3家族を徒歩で、西ヶ丘町にある「パーシティハウス西ヶ丘」にご案内し、実際内覧をしてもらいました。

今後も新入生や親御さんのニーズや心配事に応じていくことで皆さんの新生活準備がスムーズに行われるとともに、生協の信頼度向上や、新入生サポートセンターの利用増につながって頂ければと思っております。

Sumica店長 成田明夫

全国読書マラソン コメント大賞 金賞受賞!



全国コメント大賞 金賞受賞の人文学部4年 森谷さん

全国からの応募総数4778点!その頂点、金賞に輝いた人文学部4年 森谷円(まどか)さんにお話を伺いました。

Q: コメント大賞応募に『斜陽』を選んだのは?

森谷さん(以下森): 近代文学が好きで読んでいます。がいろいろな本を読む中で印象が強かったので受けた印象を言葉にしてみたかった。

Q: もともと読書を?

森: はい、家族で私だけなぜか本を読むのが好きで、でも時々「どんな本読んでいるの?」と会話を楽しています。

Q: 「今の大学生は本を読まない」なんて言われていますが、同じ学生としてどう感じますか?

森: もったいないな、と思います。自分にとって「本を読むこと」は楽しみであり、勉強になります。本を読むことで表現の仕方や言葉の使い方を知ることができる。これだけたくさん本が出版されているので必ず自分(の好み)に合うジャンルの本と出会えるはず。私も近代文学にハマったのは図書室でなんとなく樋口一葉の本を見かけて「ああ、授業で習った『たけくらべ』も読んだことがない」と思い、読んだ事がきっかけです。表紙でもタイトルでも惹かれたものがあれば読んでみるのがオススメです。

お会いしたときには緊張した面持ちでしたが、名前の通り、まるくとてもやわらかい言葉で、でもしっかりと自分の想いをお話してくれました。受賞コメントと『斜陽』はSHAREA内特設コーナーで手に取ることができます。ぜひ店頭にてご覧下さい。



森谷さんのコメントを帯としてつけていただきました。

読マラとは「読書マラソン」の略「4年間で本を100冊読もう」をスローガンに、全国の大学生協が実施する読書推進運動です。

弘前大学生協では「読書記録を付けながら継続的に本を読む。」「自分が書いた読書記録(コメント)を読んで同じ大学の知らない人がその本を手にする。」点と点が結び繋がっていく。読書が世界を広げてくれる。「そんな店舗になればいいな」という思いと大学生協として組合員の皆さんの要望に応えられる店舗作りを目指しています。

総代企画 「大運動会」を開催しました。

11月23日(木・祝)に青森県武道館主競技場において「総代企画 運動会」を開催しました。運営を含め計25名が参加しました。

今回は総代による組合員を巻き込んだ活動を行うという開催目的を主軸にして行いました。実施した競技は「バレーボール」「シークレットリレー」「ドッジボールクイズ」の3つでした。会全体を通して、参加者の方々が楽しそうに競技に参加している様子が見受けられました。

来年度以降も総代と共に組合員を巻き込んだ活動を行いたいと思っています。

生協学生委員会 教育学部2年 安田隼也



←大運動会の様子

学生総合共済からのお知らせ

12月の給付状況(合計)

病気入院	8件
病気手術	6件
事故入院	1件
事故手術	1件
事故通院・固定具使用	17件
扶養者、父母死亡	2件
計	35件

給付金額

2,664,000円

たすけあいアンケートより

「共済に加入している皆さまのおかげで安心して闘病生活を送ることができています。共済に加入することは、自分が困っているときにたすけてもらえるだけでなく、困っている人をたすけてあげることにもつながるので、共済には是非加入していただきたく思います。」

(人文社会科学部1年 左橈骨遠位骨肉腫。)

入院38日 手術1回 給付金額430,000円



飲酒事故防止運動&水抜き呼び掛け(学生委員会×店舗)



●飲酒事故防止呼びかけ運動

呼びかけ期間→12月18日～22日

ビラ配り・食堂卓上POP掲示

・ポスター掲示・Twitterアンケート

●「水抜き」呼び掛け運動

・気温ボード(サリジェ・クローバー)の更新

・気温ボードの情報をTwitterで配信

(アカウント@sumica6)

・ビラ配り・ポスターと食堂卓上POP掲示を行いました。

学生組合員が安心して大学生活を送れるように事故や被害を未然に防げるようにサポートしていきます。

新人紹介

名前: 山本大地

出身地: 北海道登別市

配属店舗: 10/1～SHAREA店(書籍担当)

書籍担当になってから週に1～2冊は本を読んでいます。新書やカバー本、文庫、iPadで電子書籍も。どの形態がこういった特徴をもつのか実体験中。興味ある方は一緒に検証しましょう！



生協で働きたいと思ったのは「学生の成長が近くで見れるから」という山本さん。

組合員と直接関りながら「楽しいこと」がしたい。提案はSHAREA山本まで！

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

毎年、1月発行のあっぷれすには理事長からの「年頭の挨拶」を載せていますが今年は各店からの広報委員が抱負を述べる会を掲載してみました。生協でもたくさんの方が働いています。ここでは詳しく掲載しませんがお店にいる職員、外販で回っている職員にぜひお声がけいただければと思います。「今日のオススメは?」「この新刊いつ入る?」それこそ「今年の抱負は?」でも笑。いままで知らなかったその人となりが見えてくると、なんだか楽しくなるのでは?生協職員、おもしろい人揃ってますよ。(SHIMO)